

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 栃木県立教育研究所新管工事地質調査

孔番 16 A

調査期間 昭和44年9月2日 ~ 44年9月4日

孔内水位 6.40 m

調査担当者 ...

標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	色調	備考	試料番号	原位置 試験深度	標準貫入試験 打撃回数 (N値)										
									0	10	20	30	40	50	60				
0																			
1	0.90	0.90	X	表土	黒	上部草根混入		1.15											
	1.10	0.20		砂	黄			1.25	5										
2								2.15											
								2.25	3										
3								3.15											
								3.25	5										
4	3.70	2.60	∇ / A	砂		下部砂混入		4.15											
	4.60	0.90		砂				4.25	2										
5								5.15											
	5.55	0.25	∇ - A	砂		下部砂		5.25	4										
6								6.15	14										
								6.35	20										
7								7.15	50										
								7.30	15										
8								8.15	50										
								8.26	11										
9								9.15	50										
								9.20	20										
10								10.15	50										
	10.28							10.28	13										
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			

最大粒径 100mm
内径 2.8m 附近
より 非常に多量
入 12.10

ボーリング柱状図

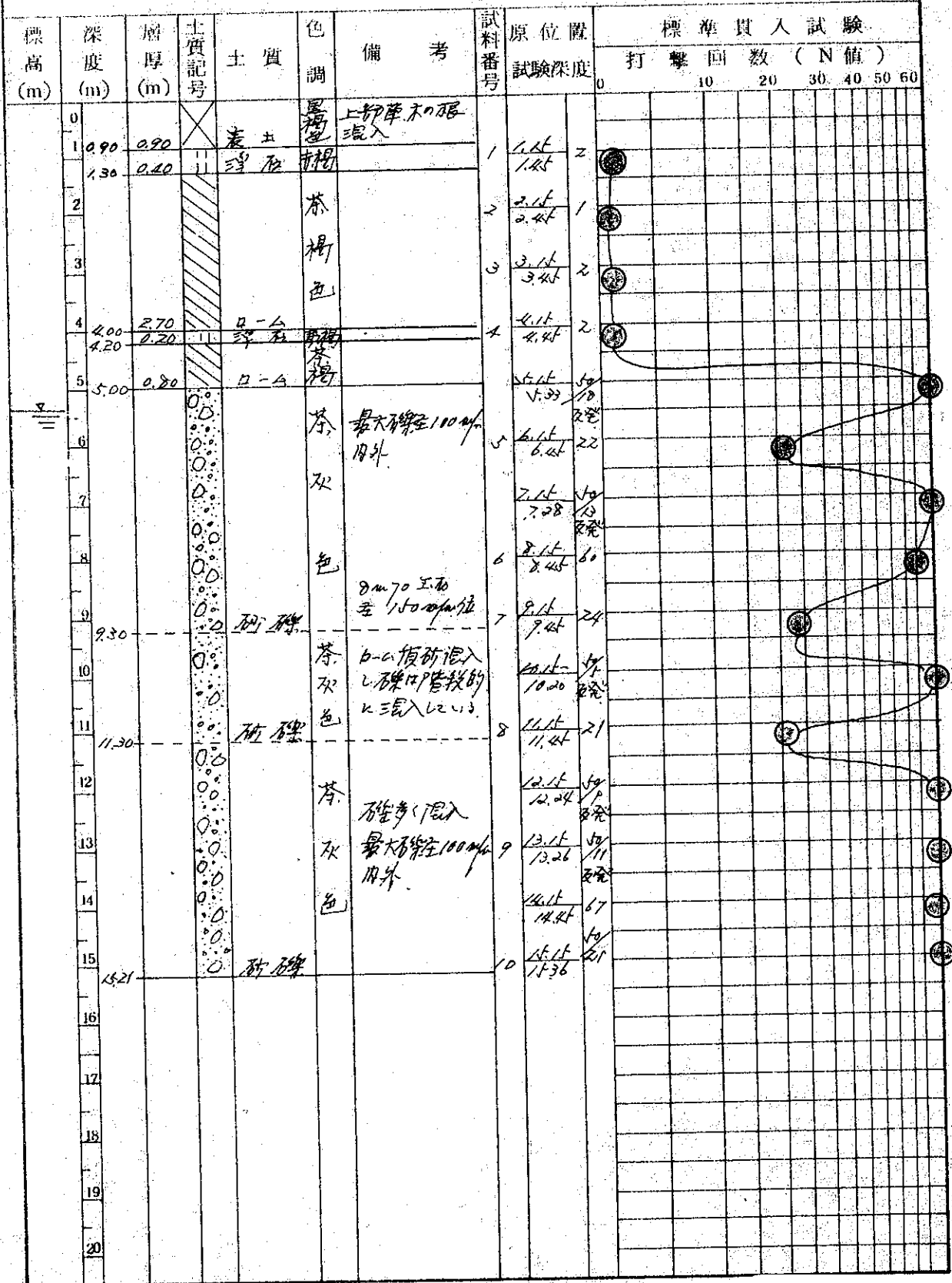
調査名 栃木県立教育研究所新築工事地質調査

孔番 16 B

調査期間 昭和22年8月25日～8月28日

孔内水位 5.30m

調査担当者



ボーリング柱状図

調査名 栃木県立教育研究所新築工事地質調査

孔番 No. C

調査期間 昭和44年7月29日～8月31日

孔内水位 5.35m

調査担当者

